

**【参考】ひきこもりに関する支援状況等  
調査結果（クロス集計結果）**

令和3年4月

東京都

## 目次

1	クロス集計.....	1
1-1	関係機関.....	1
(1)	所属種別×相談体制.....	2
(2)	所属種別×相談方法.....	3
(3)	所属種別×相談・支援の内容.....	4
(4)	所属種別×相談の実績の有無.....	5
(5)	所属種別×相談件数（延べ件数）.....	6
(6)	所属種別×相談者数（実人数）.....	7
(7)	所属種別×相談者の当事者との関係.....	8
(8)	所属種別×新規相談者数（実人数）.....	9
(9)	所属種別×当事者の年齢.....	10
(10)	所属種別×ひきこもりの状態が継続している期間.....	11
(11)	所属種別×ひきこもり状態となった年齢.....	12
(12)	所属種別×ひきこもりの状態にある期間が断続的なケース.....	13
(13)	所属種別×ひきこもりの状態となったきっかけ.....	14
(14)	所属種別×相談開始時の当事者の状態.....	15
(15)	所属種別×相談までに要した期間.....	16
(16)	所属種別×貴所属における支援期間.....	17
(17)	所属種別×当事者への支援開始までに要した最長期間.....	18
(18)	所属種別×当事者の心身の状況.....	19
(19)	所属種別×当事者の同居者の有無等.....	20
(20)	所属種別×主たる生計維持者.....	21
(21)	所属種別×生計維持者である親の年齢.....	22
(22)	所属種別×他機関につなぐ場合の対応.....	23
(23)	所属種別×実態把握のための取組.....	24
(24)	所属種別×当事者の生活状況に見られた変化.....	25
(25)	所属種別×若年層への相談・支援において課題と感じていること.....	26
(26)	所属種別×中高年層への相談・支援において課題と感じていること.....	27
(27)	所属種別×関係機関等との連携の現状（表：前半）.....	28
	（表：後半）.....	29
(28)	所属種別×今後連携する必要がある連携先（表：前半）.....	30
	（表：後半）.....	31
(29)	所属種別×地域における連携ネットワークの状況.....	32
(30)	所属種別×今後必要な支援（1位）.....	33
	（2位）.....	34
	（3位）.....	35
(31)	所属種別×情報発信.....	36
(32)	所属種別×民間事業者の利用にあたってのトラブルに関する相談.....	37

1-2	地域支援包括センター	38
(1)	担当地区におけるひきこもりの状態にある方の把握状況×関係機関との連携の現状	38
(2)	担当地区におけるひきこもりの状態にある方の把握状況×中高年層への支援において課題と感じていること	39
(3)	担当地区におけるひきこもりの状態にある方の把握状況×若年層への支援において課題と感じていること	40
1-3	民生委員・児童委員	41
(1)	担当地区におけるひきこもりの状態にある方の把握状況×関係機関との連携の現状	41
(2)	担当地区におけるひきこもりの状態にある方の把握状況×若年層への支援において課題と感じていること	42
(3)	担当地区におけるひきこもりの状態にある方の把握状況×中高年層への支援において課題と感じていること	43

# 1 クロス集計

## 1-1 関係機関

関係機関に対して行った設問Q1の結果（=所属種別）別に各設問の属性クロス集計・分析を行います。

集計にあたって、設問回答の16の所属種別を、6つのグループに振り分け、そのグループを表側（行項目）に、各設問回答を表頭（列項目）として集計を行います。

### ■設問Q1回答選択肢のグループ分類

大分類グループ	Q1 回答選択肢：所属種別
精神保健福祉分野	①保健所・保健センター
	⑪区市町村精神保健福祉担当課
	⑫精神保健福祉センター
	⑬発達障害者支援機関（東京都発達障害者支援センター等）
生活福祉分野	②生活困窮者自立相談支援機関
	③福祉事務所
	④区市町村生活困窮者自立支援法担当課
	⑭社会福祉協議会
児童福祉・青少年健全育成分野 （以下、「児童・青少年分野」という。）	⑤区市町村児童青少年行政所管課
	⑧児童相談所・児童相談センター
	⑨子ども家庭支援センター
	⑮民間支援団体（NPO法人等）
就労支援分野	⑥地域若者サポートステーション
	⑦就労支援機関（ハローワーク、東京しごとセンター）
教育分野	⑩教育相談センター、教育センター
その他	⑯その他

(1) 所属種別×相談体制

Q2						
ひきこもりに係 る相談体制につ いてうかがいま す。該当するも のを一つ選び、 回答欄に数字を 記入してください。	(相談体制)	① ひきこもり専門の相談窓口を設置している	② ひきこもり専門の相談窓口ではないが、相談窓口を設置しており、業務の 一環としてひきこもりに係る相談にも応じている	③ 相談窓口は設置していないが、ひきこもりに係る相談や問合せを受け、対応 することがある	④ ひきこもりに係る相談や問合せが寄せられることはない	未回答
合 計	319 100.0%	14 4.4%	150 47.0%	108 33.9%	36 11.3%	11 3.4%
精神保健福祉分野	80 100.0%	2 2.5%	41 51.3%	31 38.8%	5 6.3%	1 1.3%
生活福祉分野	113 100.0%	4 3.5%	51 45.1%	42 37.2%	13 11.5%	3 2.7%
児童・青少年分野	73 100.0%	6 8.2%	28 38.4%	21 28.8%	13 17.8%	5 6.8%
就労支援分野	11 100.0%	- -	4 36.4%	3 27.3%	4 36.4%	- -
教育分野	36 100.0%	1 2.8%	25 69.4%	9 25.0%	1 2.8%	- -
その他	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	- -	- -
未回答	2 100.0%	- -	- -	- -	- -	2 100.0%

## (2) 所属種別×相談方法

Q3								
相談方法についてうかがいます。貴所属で実施している相談方法として、該当するものすべてを選び、回答欄に数字を記入してください。	(相談方法)	①電話	②対面(来所)	③訪問相談(アウトリーチ)	④メール	⑤SNS	⑥その他	未回答
		合計	896 100.0%	274 30.6%	272 30.4%	178 19.9%	101 11.3%	6 0.7%
精神保健福祉分野	243 100.0%	77 31.7%	74 30.5%	58 23.9%	19 7.8%	-	13 5.3%	2 0.8%
生活福祉分野	327 100.0%	98 30.0%	96 29.4%	69 21.1%	44 13.5%	2 0.6%	9 2.8%	9 2.8%
児童・青少年分野	200 100.0%	56 28.0%	55 27.5%	36 18.0%	28 14.0%	3 1.5%	11 5.5%	11 5.5%
就労支援分野	23 100.0%	5 21.7%	8 34.8%	2 8.7%	2 8.7%	1 4.3%	3 13.0%	2 8.7%
教育分野	89 100.0%	34 38.2%	35 39.3%	10 11.2%	8 9.0%	-	2 2.2%	-
その他	12 100.0%	4 33.3%	4 33.3%	3 25.0%	-	-	1 8.3%	-
未回答	2 100.0%	-	-	-	-	-	-	2 100.0%

(3) 所属種別×相談・支援の内容

Q4													
Q3で回答していただいたもの以外で、行っている支援の内容についてうかがいます。実施しているものすべてを選び、回答欄に数字を記入してください。	(相談・支援の内容)	①当事者のカウンセリング	②居場所の運営	③社会体験活動の提供	④就労支援	⑤就学支援	⑥家族個別支援(面談等)	⑦家族へのグループ支援(家族教室、交流会等)	⑧イベントの開催(講演会等)	⑨支援情報の提供(他団体の情報含む)	⑩その他	⑪特になし	未回答
合計	810 100.0%	71 8.8%	45 5.6%	40 4.9%	74 9.1%	35 4.3%	150 18.5%	48 5.9%	49 6.0%	166 20.5%	38 4.7%	66 8.1%	28 3.5%
精神保健福祉分野	208 100.0%	10 4.8%	6 2.9%	5 2.4%	19 9.1%	6 2.9%	51 24.5%	18 8.7%	13 6.3%	47 22.6%	14 6.7%	15 7.2%	4 1.9%
生活福祉分野	287 100.0%	22 7.7%	18 6.3%	24 8.4%	40 13.9%	11 3.8%	38 13.2%	14 4.9%	14 4.9%	59 20.6%	17 5.9%	19 6.6%	11 3.8%
児童・青少年分野	179 100.0%	14 7.8%	13 7.3%	8 4.5%	9 5.0%	5 2.8%	32 17.9%	12 6.7%	18 10.1%	38 21.2%	3 1.7%	19 10.6%	8 4.5%
就労支援分野	37 100.0%	4 10.8%	3 8.1%	2 5.4%	5 13.5%	2 5.4%	4 10.8%	3 8.1%	2 5.4%	6 16.2%	1 2.7%	3 8.1%	2 5.4%
教育分野	91 100.0%	21 23.1%	4 4.4%	1 1.1%	1 1.1%	11 12.1%	24 26.4%	1 1.1%	2 2.2%	15 16.5%	2 2.2%	8 8.8%	1 1.1%
その他	6 100.0%	-	1 16.7%	-	-	-	1 16.7%	-	-	1 16.7%	1 16.7%	2 33.3%	-
未回答	2 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 100.0%

## (4) 所属種別×相談の実績の有無

Q5				
ひきこもりに係る相談実績の有無についてうかがいます。該当するものを選び、回答欄に数字を記入してください。	(相談の実績の有無)	① ひきこもりに係る相談があった ⇒ Q 6 へ	② ひきこもりに係る相談はなかった ⇒ Q 2 3 へ	未回答
合 計	319 100.0%	195 61.1%	112 35.1%	12 3.8%
精神保健福祉分野	80 100.0%	61 76.3%	16 20.0%	3 3.8%
生活福祉分野	113 100.0%	71 62.8%	39 34.5%	3 2.7%
児童・青少年分野	73 100.0%	34 46.6%	34 46.6%	5 6.8%
就労支援分野	11 100.0%	4 36.4%	6 54.5%	1 9.1%
教育分野	36 100.0%	23 63.9%	13 36.1%	— —
そ の 他	4 100.0%	2 50.0%	2 50.0%	— —
未 回 答	2 100.0%	— —	2 100.0%	— —



(5) 所属種別×相談件数 (延べ件数)

Q6							
ひきこもりに係る相談件数(延べ件数)についてうかがいます。該当する相談方法別に件数(延べ件数)をご回答ください。	(相談件数)	電話	対面(来所)	訪問相談(アウトリーチ)	メール	SNS	その他
合計	31,600 100.0%	10,657 33.7%	15,650 49.5%	3,002 9.5%	393 1.2%	136 0.4%	1,762 5.6%
精神保健福祉分野	8,768 100.0%	4,809 54.8%	1,849 21.1%	1,396 15.9%	58 0.7%	-	656 7.5%
生活福祉分野	9,073 100.0%	3,957 43.6%	3,267 36.0%	707 7.8%	228 2.5%	-	914 10.1%
児童・青少年分野	8,889 100.0%	1,504 16.9%	6,319 71.1%	686 7.7%	83 0.9%	136 1.5%	161 1.8%
就労支援分野	4,044 100.0%	217 5.4%	3,738 92.4%	65 1.6%	24 0.6%	-	-
教育分野	726 100.0%	129 17.8%	433 59.6%	133 18.3%	-	-	31 4.3%
その他	100 100.0%	41 41.0%	44 44.0%	15 15.0%	-	-	-

## (6) 所属種別×相談者数 (実人数)

Q7							
相談者数についてうかがいます。相談方法別に相談者数(実人数)をご回答ください。	(相談者数)	電話	対面(来所)	訪問相談(アウトリーチ)	メール	SNS	その他
合 計	6,654 100.0%	1,866 28.0%	3,562 53.5%	743 11.2%	88 1.3%	9 0.1%	386 5.8%
精神保健福祉分野	1,858 100.0%	633 34.1%	675 36.3%	351 18.9%	6 0.3%	-	193 10.4%
生活福祉分野	1,835 100.0%	580 31.6%	899 49.0%	203 11.1%	38 2.1%	-	115 6.3%
児童・青少年分野	1,840 100.0%	451 24.5%	1,141 62.0%	133 7.2%	29 1.6%	9 0.5%	77 4.2%
就労支援分野	906 100.0%	158 17.4%	691 76.3%	42 4.6%	15 1.7%	-	-
教育分野	189 100.0%	36 19.0%	141 74.6%	11 5.8%	-	-	1 0.5%
その他	26 100.0%	8 30.8%	15 57.7%	3 11.5%	-	-	-

## (7) 所属種別×相談者の当事者との関係

Q8					
Q7で回答のあった相談者についてうかがいます。ひきこもり状態にある当事者との関係別に相談者数(実人数)をご回答ください。	(相談者の当事者との関係)	当事者	親	兄弟・姉妹	その他
合 計	4,899 100.0%	2,039 41.6%	2,224 45.4%	187 3.8%	449 9.2%
精神保健福祉分野	958 100.0%	248 25.9%	490 51.1%	53 5.5%	167 17.4%
生活福祉分野	1,272 100.0%	600 47.2%	417 32.8%	101 7.9%	154 12.1%
児童・青少年分野	1,545 100.0%	425 27.5%	1,026 66.4%	24 1.6%	70 4.5%
就労支援分野	939 100.0%	700 74.5%	175 18.6%	8 0.9%	56 6.0%
教育分野	170 100.0%	64 37.6%	104 61.2%	— —	2 1.2%
そ の 他	15 100.0%	2 13.3%	12 80.0%	1 6.7%	— —

(8) 所属種別×新規相談者数 (実人数)

Q9							
Q7のうち令和元年度中に初めて相談のあった相談者数(実人数)についてうかがいます。相談方法別に人数をご回答ください。	(新規相談者数)	電話	対面(未所)	訪問相談(アウトリーチ)	メール	SNS	その他
合 計	2,389 100.0%	716 30.0%	1,383 57.9%	185 7.7%	30 1.3%	2 0.1%	73 3.1%
精神保健福祉分野	553 100.0%	310 56.1%	152 27.5%	54 9.8%	-	-	37 6.7%
生活福祉分野	784 100.0%	203 25.9%	456 58.2%	83 10.6%	16 2.0%	-	26 3.3%
児童・青少年分野	702 100.0%	190 27.1%	444 63.2%	42 6.0%	14 2.0%	2 0.3%	10 1.4%
就労支援分野	283 100.0%	-	283 100.0%	-	-	-	-
教育分野	45 100.0%	8 17.8%	34 75.6%	3 6.7%	-	-	-
そ の 他	22 100.0%	5 22.7%	14 63.6%	3 13.6%	-	-	-

## (9) 所属種別×当事者の年齢

Q10								
に相談・支援の対象となっている当事者の年齢についてうかがいます。年齢層別に人数をご回答ください。	(当事者の年齢)	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明
		合計	4,284 100.0%	629 14.7%	1,246 29.1%	1,014 23.7%	658 15.4%	392 9.2%
精神保健福祉分野	910 100.0%	142 15.6%	227 24.9%	134 14.7%	180 19.8%	122 13.4%	29 3.2%	76 8.4%
生活福祉分野	1,345 100.0%	77 5.7%	277 20.6%	245 18.2%	292 21.7%	240 17.8%	98 7.3%	116 8.6%
児童・青少年分野	1,213 100.0%	240 19.8%	364 30.0%	400 33.0%	166 13.7%	29 2.4%	5 0.4%	9 0.7%
就労支援分野	696 100.0%	70 10.1%	374 53.7%	228 32.8%	17 2.4%	-	-	7 1.0%
教育分野	107 100.0%	100 93.5%	2 1.9%	-	-	-	-	5 4.7%
その他	13 100.0%	-	2 15.4%	7 53.8%	3 23.1%	1 7.7%	-	-

(10) 所属種別×ひきこもりの状態が継続している期間

Q11										
相談・支援の対象となっている当事者のひきこもり状態に関する期間について、期間別に人数を ご回答ください。	(ひきこもりの状態が継続している期間)	1 年未 満	1 年以 上3 年未 満	3 年以 上5 年未 満	5 年以 上1 0年未 満	1 0年 以上 20年未 満	2 0年 以上 30年未 満	3 0年 以上	ひきこもりの状態が断続的であり判断が難しい	不明
合 計	2,392 100.0%	308 12.9%	442 18.5%	255 10.7%	361 15.1%	335 14.0%	149 6.2%	60 2.5%	106 4.4%	376 15.7%
精神保健福祉分野	440 100.0%	28 6.4%	58 13.2%	38 8.6%	67 15.2%	79 18.0%	44 10.0%	24 5.5%	20 4.5%	82 18.6%
生活福祉分野	891 100.0%	74 8.3%	137 15.4%	78 8.8%	115 12.9%	124 13.9%	79 8.9%	33 3.7%	55 6.2%	196 22.0%
児童・青少年分野	945 100.0%	180 19.0%	189 20.0%	125 13.2%	170 18.0%	125 13.2%	26 2.8%	3 0.3%	30 3.2%	97 10.3%
就労支援分野	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
教育分野	103 100.0%	25 24.3%	56 54.4%	14 13.6%	6 5.8%	-	-	-	1 1.0%	1 1.0%
そ の 他	13 100.0%	1 7.7%	2 15.4%	-	3 23.1%	7 53.8%	-	-	-	-

## (11) 所属種別×ひきこもり状態となった年齢

Q12									
相談・支援の対象となつて いる当事者のひきこもり状態 になつたときの年齢に ついてうかがいます。年齢層別 に人数をご回答ください。	(ひきこもりの状態となつた 年齢)	1 9 歳 以下	2 0 歳 代	3 0 歳 代	4 0 歳 代	5 0 歳 代	6 0 歳 以上	ひきこもりの状態が断続的 であり判断が難しい	不明
合 計	2,401 100.0%	852 35.5%	710 29.6%	254 10.6%	107 4.5%	43 1.8%	17 0.7%	79 3.3%	339 14.1%
精神保健福祉分野	439 100.0%	135 30.8%	123 28.0%	50 11.4%	26 5.9%	9 2.1%	3 0.7%	13 3.0%	80 18.2%
生活福祉分野	894 100.0%	208 23.3%	223 24.9%	115 12.9%	68 7.6%	30 3.4%	13 1.5%	50 5.6%	187 20.9%
児童・青少年分野	952 100.0%	404 42.4%	357 37.5%	85 8.9%	13 1.4%	4 0.4%	1 0.1%	16 1.7%	72 7.6%
就労支援分野	0	-	-	-	-	-	-	-	-
教育分野	103 100.0%	103 100.0%	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他	13 100.0%	2 15.4%	7 53.8%	4 30.8%	-	-	-	-	-

(12) 所属種別×ひきこもりの状態にある期間が断続的なケース

Q13					
相談・支援の対象となつていない当事者のひきこもりの状態にある期間が断続的であるケースについて、再度ひきこもつて一度ひきこもりはありますか。あてはまるものを一つ選び、回答欄に数字を記入してください。	(ひきこもりの状態にある期間が断続的なケース)	①ある	②ない	③不明(聞き取っていない)	未回答
合計	195 100.0%	67 34.4%	53 27.2%	50 25.6%	25 12.8%
精神保健福祉分野	61 100.0%	19 31.1%	21 34.4%	11 18.0%	10 16.4%
生活福祉分野	71 100.0%	28 39.4%	14 19.7%	22 31.0%	7 9.9%
児童・青少年分野	34 100.0%	11 32.4%	9 26.5%	11 32.4%	3 8.8%
就労支援分野	4 100.0%	2 50.0%	-	-	2 50.0%
教育分野	23 100.0%	6 26.1%	8 34.8%	6 26.1%	3 13.0%
その他	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	-	-



(13) 所属種別×ひきこもりの状態となったきっかけ

Q14												
相談・支援の対象となっている当事者のひきこもりの状態になったきっかけに数字を記入してください。主なきっかけとして、多いものを三つまで選び、回答欄に	(ひきこもりの状態となったきっかけ)	① 受験・進学関係	② 学校・大学等におけるいじめ等の人間関係	③ 就職活動関係	④ 職場における人間関係（パワハラ、セクハラ等）による離職	⑤ 上記④以外の理由による離職（リストラ、介護離職等）	⑥ 病気	⑦ 家族関係	⑧ 特段きっかけはない	⑨ 当機関では把握していない	⑩ その他	未回答
合計	458 100.0%	22 4.8%	103 22.5%	31 6.8%	56 12.2%	16 3.5%	77 16.8%	66 14.4%	13 2.8%	33 7.2%	21 4.6%	20 4.4%
精神保健福祉分野	142 100.0%	7 4.9%	30 21.1%	9 6.3%	18 12.7%	5 3.5%	29 20.4%	18 12.7%	3 2.1%	4 2.8%	11 7.7%	8 5.6%
生活福祉分野	173 100.0%	3 1.7%	34 19.7%	16 9.2%	27 15.6%	11 6.4%	36 20.8%	13 7.5%	3 1.7%	23 13.3%	2 1.2%	5 2.9%
児童・青少年分野	82 100.0%	7 8.5%	20 24.4%	5 6.1%	7 8.5%	-	8 9.8%	22 26.8%	4 4.9%	5 6.1%	2 2.4%	2 2.4%
就労支援分野	9 100.0%	-	3 33.3%	1 11.1%	2 22.2%	-	-	2 22.2%	-	-	1 11.1%	-
教育分野	46 100.0%	5 10.9%	14 30.4%	-	-	-	4 8.7%	9 19.6%	3 6.5%	1 2.2%	5 10.9%	5 10.9%
その他	6 100.0%	-	2 33.3%	-	2 33.3%	-	-	2 33.3%	-	-	-	-

(14) 所属種別×相談開始時の当事者の状態

Q15							
相談・支援の対象となっている当事者の状態についてうかがいます。当事者や家族等から最初に相談があったときの当事者の状態として、最も多いもの一つを選び、回答欄に数字を記入してください。	(相談開始時の当事者の状態)	①	②	③	④	⑤	未回答
		自室からほとんど出ない	自室からは出るが、外出はしない	普段は家にいるが、近所のコンビニなどには外出する	普段は家にいるが、趣味の用事などでは外出する	その他	
合計	195 100.0%	10 5.1%	32 16.4%	89 45.6%	24 12.3%	18 9.2%	22 11.3%
精神保健福祉分野	61 100.0%	4 6.6%	10 16.4%	27 44.3%	4 6.6%	5 8.2%	11 18.0%
生活福祉分野	71 100.0%	3 4.2%	9 12.7%	41 57.7%	10 14.1%	6 8.5%	2 2.8%
児童・青少年分野	34 100.0%	1 2.9%	7 20.6%	16 47.1%	3 8.8%	4 11.8%	3 8.8%
就労支援分野	4 100.0%	- -	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	- -
教育分野	23 100.0%	2 8.7%	4 17.4%	4 17.4%	5 21.7%	2 8.7%	6 26.1%
その他	2 100.0%	- -	1 50.0%	- -	1 50.0%	- -	- -

## (15) 所属種別×相談までに要した期間

Q16										
別者相談・家族等が貴所へ相談するまでに要した期間についてうかがいます。期間	(相談までに要した期間)	6か月未満	6か月以上1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上	不明
合計	2,669 100.0%	458 17.2%	205 7.7%	415 15.5%	243 9.1%	334 12.5%	288 10.8%	98 3.7%	25 0.9%	603 22.6%
精神保健福祉分野	441 100.0%	45 10.2%	25 5.7%	65 14.7%	44 10.0%	57 12.9%	59 13.4%	29 6.6%	10 2.3%	107 24.3%
生活福祉分野	796 100.0%	132 16.6%	39 4.9%	83 10.4%	56 7.0%	89 11.2%	82 10.3%	53 6.7%	13 1.6%	249 31.3%
児童・青少年分野	955 100.0%	159 16.6%	96 10.1%	181 19.0%	110 11.5%	160 16.8%	116 12.1%	13 1.4%	2 0.2%	118 12.4%
就労支援分野	381 100.0%	89 23.4%	23 6.0%	65 17.1%	26 6.8%	26 6.8%	28 7.3%	3 0.8%	-	121 31.8%
教育分野	83 100.0%	32 38.6%	21 25.3%	20 24.1%	7 8.4%	2 2.4%	-	-	-	1 1.2%
その他	13 100.0%	1 7.7%	1 7.7%	1 7.7%	-	-	3 23.1%	-	-	7 53.8%

## (16) 所属種別×貴所属における支援期間

Q17							
の相別 の相別に 相別を 開始し した時 点から 通算し た期間 として ください。 相談・支 援の対 象とな って いる当 事者 につ いて、 相談・ 支援を 継続し て いる期 間を ご回答 ください。 相談・支 援を 開始し た時 点から 通算し た期間 として ください。	(貴所属 にお ける 支援 期間)	1 年 未 満	1 年 以 上 3 年 未 満	3 年 以 上 5 年 未 満	5 年 以 上 1 0 年 未 満	1 0 年 以 上	不 明
		合 計	2,864 100.0%	1,031 36.0%	834 29.1%	412 14.4%	294 10.3%
精神保健福祉分野	453 100.0%	152 33.6%	87 19.2%	67 14.8%	51 11.3%	37 8.2%	59 13.0%
生活福祉分野	968 100.0%	518 53.5%	258 26.7%	53 5.5%	32 3.3%	12 1.2%	95 9.8%
児童・青少年分野	869 100.0%	285 32.8%	250 28.8%	173 19.9%	102 11.7%	28 3.2%	31 3.6%
就労支援分野	463 100.0%	40 8.6%	190 41.0%	99 21.4%	103 22.2%	31 6.7%	-
教育分野	105 100.0%	30 28.6%	49 46.7%	20 19.0%	6 5.7%	-	-
その他	6 100.0%	6 100.0%	-	-	-	-	-

(17) 所属種別×当事者への支援開始までに要した最長期間

Q18									
相談開始時には当事者が相談・支援を望まないなど、家族への相談・支援のみならず、当事者と直接会う機会を確保していただく等）に至るまで（支援者も訪問・来所相談等で	（当事者への支援開始までに要した最長期間）	1	4	7	10	1	2	3	5
		か月以上4か月未満	か月以上7か月未満	か月以上10か月未満	か月以上1年未満	年以上2年未満	年以上3年未満	年以上5年未満	年以上
合計	95 100.0%	23 24.2%	11 11.6%	6 6.3%	11 11.6%	14 14.7%	11 11.6%	11 11.6%	8 8.4%
精神保健福祉分野	27 100.0%	3 11.1%	-	2 7.4%	4 14.8%	1 3.7%	5 18.5%	6 22.2%	6 22.2%
生活福祉分野	39 100.0%	11 28.2%	5 12.8%	3 7.7%	5 12.8%	8 20.5%	4 10.3%	2 5.1%	1 2.6%
児童・青少年分野	16 100.0%	5 31.3%	2 12.5%	-	1 6.3%	3 18.8%	2 12.5%	2 12.5%	1 6.3%
就労支援分野	0	-	-	-	-	-	-	-	-
教育分野	12 100.0%	4 33.3%	4 33.3%	-	1 8.3%	2 16.7%	-	1 8.3%	-
その他	1 100.0%	-	-	1 100.0%	-	-	-	-	-

(18) 所属種別×当事者の心身の状況

Q19										
相談・支援の対象となっている当事者についてうかがいます。当事者の心身の状況として、多いものを三つまで選び、回答欄に数字を記入してください。	(当事者の心身の状況)	①精神疾患を有している、またはその疑いがある	②知的障害を有している、またはその疑いがある	③発達障害を有している、またはその疑いがある	④精神疾患及び障害(知的・発達等)を両方有している	⑤精神疾患や障害は有していない	⑥当事者の状態が不明なため、心身の状況を見立てることは困難	⑦福祉・保健医療の専門職がないため、心身の状況を見立てることは困難	⑧その他	未回答
合計	450 100.0%	120 26.7%	31 6.9%	125 27.8%	47 10.4%	28 6.2%	61 13.6%	9 2.0%	11 2.4%	18 4.0%
精神保健福祉分野	143 100.0%	38 26.6%	9 6.3%	42 29.4%	24 16.8%	3 2.1%	16 11.2%	1 0.7%	2 1.4%	8 5.6%
生活福祉分野	170 100.0%	55 32.4%	14 8.2%	41 24.1%	12 7.1%	9 5.3%	29 17.1%	5 2.9%	3 1.8%	2 1.2%
児童・青少年分野	80 100.0%	18 22.5%	6 7.5%	22 27.5%	6 7.5%	6 7.5%	11 13.8%	3 3.8%	5 6.3%	3 3.8%
就労支援分野	12 100.0%	4 33.3%	-	4 33.3%	1 8.3%	2 16.7%	1 8.3%	-	-	-
教育分野	41 100.0%	4 9.8%	2 4.9%	14 34.1%	4 9.8%	8 19.5%	3 7.3%	-	1 2.4%	5 12.2%
その他	4 100.0%	1 25.0%	-	2 50.0%	-	-	1 25.0%	-	-	-

## (19) 所属種別×当事者の同居者の有無等

Q20						
相談・支援の対象となっている当事者についてうかがいます。同居者の有無等別に人数をご回答ください。	(当事者の同居者の有無等)	同居者あり(家族)	同居者あり(家族以外)	同居者なし(一人暮らし)	不明	その他
合計	2,900 100.0%	2,231 76.9%	48 1.7%	405 14.0%	201 6.9%	15 0.5%
精神保健福祉分野	446 100.0%	326 73.1%	4 0.9%	53 11.9%	55 12.3%	8 1.8%
生活福祉分野	970 100.0%	665 68.6%	22 2.3%	253 26.1%	24 2.5%	6 0.6%
児童・青少年分野	917 100.0%	829 90.4%	7 0.8%	68 7.4%	12 1.3%	1 0.1%
就労支援分野	456 100.0%	309 67.8%	7 1.5%	30 6.6%	110 24.1%	-
教育分野	105 100.0%	97 92.4%	8 7.6%	-	-	-
その他	6 100.0%	5 83.3%	-	1 16.7%	-	-

(20) 所属種別×主たる生計維持者

Q21									
相談・支援の対象となっている当事者の主たる生計維持者についてうかがいます。当事者との関係別に人数をご回答ください。	(主たる生計維持者)	当事者	親	配偶者	兄弟・姉妹	その他の家族、親戚	生活保護などを受けている	不明	その他
合計	2,321 100.0%	137 5.9%	1,742 75.1%	20 0.9%	32 1.4%	25 1.1%	203 8.7%	118 5.1%	44 1.9%
精神保健福祉分野	445 100.0%	26 5.8%	303 68.1%	4 0.9%	7 1.6%	2 0.4%	30 6.7%	51 11.5%	22 4.9%
生活福祉分野	877 100.0%	101 11.5%	541 61.7%	7 0.8%	19 2.2%	14 1.6%	140 16.0%	40 4.6%	15 1.7%
児童・青少年分野	889 100.0%	10 1.1%	789 88.8%	9 1.0%	6 0.7%	8 0.9%	33 3.7%	27 3.0%	7 0.8%
就労支援分野	0	-	-	-	-	-	-	-	-
教育分野	104 100.0%	-	103 99.0%	-	-	1 1.0%	-	-	-
その他	6 100.0%	-	6 100.0%	-	-	-	-	-	-



## (21) 所属種別×生計維持者である親の年齢

Q22									
年齢階別の人数を ご回答ください。	相談・経済的支援の 対象となっている者 （当事者が主たる 生計維持者（当事者 に対して、年 齢階別の人数を ご回答ください） が親である場合 について、年 齢階別の人数を ご回答ください）	（生計維持者である親の年齢）	39	40	50	60	70	80	不明
			歳以下	歳代	歳代	歳代	歳代	歳以上	
合計	2,098	24	192	431	491	330	145	485	
	100.0%	1.1%	9.2%	20.5%	23.4%	15.7%	6.9%	23.1%	
精神保健福祉分野	314	5	18	58	57	68	44	64	
	100.0%	1.6%	5.7%	18.5%	18.2%	21.7%	14.0%	20.4%	
生活福祉分野	862	6	57	141	170	161	91	236	
	100.0%	0.7%	6.6%	16.4%	19.7%	18.7%	10.6%	27.4%	
児童・青少年分野	810	10	69	211	261	99	10	150	
	100.0%	1.2%	8.5%	26.0%	32.2%	12.2%	1.2%	18.5%	
就労支援分野	0	-	-	-	-	-	-	-	
教育分野	106	3	48	20	-	-	-	35	
	100.0%	2.8%	45.3%	18.9%	-	-	-	33.0%	
その他	6	-	-	1	3	2	-	-	
	100.0%	-	-	16.7%	50.0%	33.3%	-	-	

## (22) 所属種別×他機関につなぐ場合の対応

Q23							
相談者を貴所属から他の機関等につなぐケース（貴所属で相談を受けたが他の支援機関等の方がより適切な支援を行える場合や、他の支援機関での支援を並行して利用することが望ましい場合等）についてうかがいます。どのように対応しているか、最も多いものを選び、回答欄に数字を記入してください。	（相談者を他機関につなぐ場合の対応）	①相談者に対し支援機関等に関する情報を提供する	②相談者・支援機関双方に対し情報を提供する	③相談者が支援機関等に行く際同行し、支援の経過等を支援者間で共有する	④その他	⑤特になし	未回答
合計	319 100.0%	94 29.5%	125 39.2%	47 14.7%	10 3.1%	22 6.9%	21 6.6%
精神保健福祉分野	80 100.0%	27 33.8%	32 40.0%	13 16.3%	2 2.5%	2 2.5%	4 5.0%
生活福祉分野	113 100.0%	21 18.6%	55 48.7%	23 20.4%	2 1.8%	6 5.3%	6 5.3%
児童・青少年分野	73 100.0%	25 34.2%	24 32.9%	6 8.2%	5 6.8%	6 8.2%	7 9.6%
就労支援分野	11 100.0%	4 36.4%	1 9.1%	2 18.2%	-	3 27.3%	1 9.1%
教育分野	36 100.0%	17 47.2%	12 33.3%	1 2.8%	1 2.8%	4 11.1%	1 2.8%
その他	4 100.0%	-	1 25.0%	2 50.0%	-	1 25.0%	-
未回答	2 100.0%	-	-	-	-	-	2 100.0%

(23) 所属種別×実態把握のための取組

Q24								
ひきこもり状態にある人の実態把握のために、どのような取組を行っていますか。行っているものをすべて選び、回答欄に数字を記入してください。	(実態把握のための取組)	①当事者へのヒアリング調査	②家族へのヒアリング調査	③個別の世帯訪問	④アンケート調査	⑤その他	⑥実態把握のための取組は行っていない	未回答
合 計	437 100.0%	56 12.8%	73 16.7%	50 11.4%	12 2.7%	30 6.9%	192 43.9%	24 5.5%
精神保健福祉分野	107 100.0%	11 10.3%	14 13.1%	13 12.1%	3 2.8%	5 4.7%	58 54.2%	3 2.8%
生活福祉分野	177 100.0%	33 18.6%	33 18.6%	30 16.9%	2 1.1%	12 6.8%	60 33.9%	7 4.0%
児童・青少年分野	91 100.0%	8 8.8%	15 16.5%	4 4.4%	6 6.6%	6 6.6%	43 47.3%	9 9.9%
就労支援分野	12 100.0%	- -	1 8.3%	- -	1 8.3%	1 8.3%	8 66.7%	1 8.3%
教育分野	43 100.0%	4 9.3%	9 20.9%	1 2.3%	- -	5 11.6%	22 51.2%	2 4.7%
そ の 他	5 100.0%	- -	1 20.0%	2 40.0%	- -	1 20.0%	1 20.0%	- -
未 回 答	2 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	2 100.0%

## (24) 所属種別×当事者の生活状況に見られた変化

Q25										
相談・支援の対象となつている当事者についてうかがいます。相談・支援を継続して行う中で当事者の行動範囲に見られた変化について、多いものを三つまで選び、回答欄に数字を記入してください。	(当事者の生活状況に見られた変化)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	未回答
		自室から出られるようになった	自宅から出られるようになった(コンビニでの買い物など)	趣味などの外出が出来るようになった	居場所や当事者同士の活動に参加できるようになった	就職・就学に向けて活動をはじめた	就職・就学した	①⑤⑥のような(目立った)変化は見られなかった	その他	
合計	537 100.0%	21 3.9%	52 9.7%	42 7.8%	59 11.0%	70 13.0%	29 5.4%	102 19.0%	85 15.8%	77 14.3%
精神保健福祉分野	142 100.0%	9 6.3%	17 12.0%	13 9.2%	18 12.7%	12 8.5%	-	33 23.2%	25 17.6%	15 10.6%
生活福祉分野	192 100.0%	6 3.1%	18 9.4%	14 7.3%	23 12.0%	30 15.6%	14 7.3%	40 20.8%	26 13.5%	21 10.9%
児童・青少年分野	111 100.0%	2 1.8%	5 4.5%	4 3.6%	9 8.1%	15 13.5%	12 10.8%	16 14.4%	24 21.6%	24 21.6%
就労支援分野	18 100.0%	-	-	-	4 22.2%	3 16.7%	1 5.6%	2 11.1%	4 22.2%	4 22.2%
教育分野	64 100.0%	3 4.7%	11 17.2%	11 17.2%	3 4.7%	8 12.5%	2 3.1%	10 15.6%	6 9.4%	10 15.6%
その他	8 100.0%	1 12.5%	1 12.5%	-	2 25.0%	2 25.0%	-	1 12.5%	-	1 12.5%
未回答	2 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	2 100.0%

(25) 所属種別×若年層への相談・支援において課題と感じていること

Q26															
若年層（おおむね39歳まで）の当事者に係る相談・支援において、課題と感じていることとして、主なものを三つまで選び、回答欄に数字を記入してください。	（若年層への相談・支援において課題と感じていること）	①ひきこもりに係る知識や支援ノウハウを有していない	②当事者や家族からの相談に対して、適切な対応が分からない	③当事者・家族が抱える悩みが多岐に渡っているため、対応に時間がかかる	④家族から相談があっても、当事者が相談・支援を望んでいない	⑤関係機関との関係構築が十分でないため、適切に連携して対応できない	⑥地域にひきこもりに係る支援の社会資源（居場所や家族会等）がない	⑦地域にひきこもりに係る支援の社会資源（居場所や家族会等）を知らない	⑧相談・支援に至るまでに長期間経過しており、対応が難しいと感じる	⑨当事者がいる家庭の存在は把握しているが、ひきこもりの相談に繋がられない	⑩近隣住民等から情報提供や相談があるが、当事者・家族にアプローチができない	⑪きめ細かな相談を行うための人員体制が整っていない	⑫家族から相談があっても、相談が継続せず途切れてしまう	⑬特になし	未回答
合計	737 100.0%	91 12.3%	38 5.2%	79 10.7%	157 21.3%	15 2.0%	62 8.4%	15 2.0%	53 7.2%	19 2.6%	23 3.1%	57 7.7%	55 7.5%	31 4.2%	42 5.7%
精神保健福祉分野	210 100.0%	18 8.6%	12 5.7%	27 12.9%	53 25.2%	2 1.0%	20 9.5%	2 1.0%	19 9.0%	4 1.9%	7 3.3%	16 7.6%	20 9.5%	5 2.4%	5 2.4%
生活福祉分野	281 100.0%	45 16.0%	12 4.3%	28 10.0%	59 21.0%	7 2.5%	26 9.3%	6 2.1%	19 6.8%	11 3.9%	10 3.6%	22 7.8%	20 7.1%	8 2.8%	8 2.8%
児童・青少年分野	142 100.0%	19 13.4%	10 7.0%	10 7.0%	21 14.8%	5 3.5%	9 6.3%	4 2.8%	9 6.3%	1 0.7%	4 2.8%	12 8.5%	9 6.3%	13 9.2%	16 11.3%
就労支援分野	20 100.0%	1 5.0%	1 5.0%	2 10.0%	3 15.0%	-	-	-	2 10.0%	-	1 5.0%	3 15.0%	2 10.0%	2 10.0%	3 15.0%
教育分野	71 100.0%	7 9.9%	3 4.2%	11 15.5%	18 25.4%	1 1.4%	6 8.5%	3 4.2%	4 5.6%	2 2.8%	-	2 2.8%	4 5.6%	2 2.8%	8 11.3%
その他	11 100.0%	1 9.1%	-	1 9.1%	3 27.3%	-	1 9.1%	-	-	1 9.1%	1 9.1%	2 18.2%	-	1 9.1%	-
未回答	2 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 100.0%

(26) 所属種別×中高年層への相談・支援において課題と感じていること

Q28 中高年層（おおむね40歳以上）の当事者への相談・支援において、貴所属が課題として感じていることとして、主なものを三つまで選び、回答欄に数字を記入してください。	(中高年層への相談・支援において課題と感じていること)	①ひきこもりに係る知識や支援ノウハウを有していない	②当事者や家族からの相談に対して、適切な対応が分からない	③当事者・家族が抱える悩みが多岐に渡っているため、対応に時間がかかる	④家族から相談があっても、当事者が相談・支援を望んでいない	⑤関係機関との関係構築が十分でないため、適切に連携して対応できない	⑥地域にひきこもりに係る支援の社会資源（居場所や家族会等）がない	⑦地域にひきこもりに係る支援の社会資源（居場所や家族会等）を知らない	⑧相談・支援に至るまでに長期間経過しており、対応が難しいと感じる	⑨当事者がいる家庭の存在は把握しているが、ひきこもりの相談に繋がられない	⑩近隣住民等から情報提供や相談があるが、当事者・家族にアプローチができない	⑪きめ細かな相談を行うための人員体制が整っていない	⑫家族から相談があっても、相談が継続せず途切れてしまう	⑬特になし	未回答
合計	683 100.0%	72 10.5%	34 5.0%	75 11.0%	118 17.3%	8 1.2%	50 7.3%	10 1.5%	93 13.6%	18 2.6%	18 2.6%	46 6.7%	26 3.8%	43 6.3%	72 10.5%
精神保健福祉分野	212 100.0%	15 7.1%	10 4.7%	29 13.7%	48 22.6%	-	19 9.0%	1 0.5%	40 18.9%	6 2.8%	8 3.8%	14 6.6%	12 5.7%	5 2.4%	5 2.4%
生活福祉分野	285 100.0%	40 14.0%	14 4.9%	36 12.6%	57 20.0%	3 1.1%	23 8.1%	7 2.5%	40 14.0%	9 3.2%	8 2.8%	18 6.3%	12 4.2%	7 2.5%	11 3.9%
児童・青少年分野	120 100.0%	16 13.3%	9 7.5%	6 5.0%	10 8.3%	5 4.2%	6 5.0%	2 1.7%	10 8.3%	2 1.7%	1 0.8%	10 8.3%	1 0.8%	15 12.5%	27 22.5%
就労支援分野	18 100.0%	1 5.6%	1 5.6%	3 16.7%	2 11.1%	-	-	-	2 11.1%	-	-	2 11.1%	1 5.6%	2 11.1%	4 22.2%
教育分野	36 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23 63.9%
その他	10 100.0%	-	-	1 10.0%	1 10.0%	-	2 20.0%	-	1 10.0%	1 10.0%	1 10.0%	2 20.0%	-	1 10.0%	-
未回答	2 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 100.0%

(27) 所属種別×関係機関等との連携の現状 (表：前半)

Q30															
相談・支援における連携についてうかがいます。貴所属がひきこもりに係る相談・支援において、連携している関係機関等をすべて並び、回答欄に数字を記入してください。	(関係機関等との連携の現状)	①保健所・保健センター	②生活困窮者自立相談支援機関	③福祉事務所	④区市町村児童青少年行政所管課	⑤地域若者サポートステーション	⑥ハローワーク	⑦東京しごとセンター	⑧児童相談所・児童相談センター	⑨子供家庭支援センター	⑩学校(スクールカウンセラー等を含む)	⑪教育相談センター・教育センター	⑫精神保健福祉センター	⑬障害者就業・生活支援センター	⑭東京都発達障害者支援センター(TOSCA)
		合計	2,104 100.0%	187 8.9%	142 6.7%	139 6.6%	67 3.2%	94 4.5%	66 3.1%	30 1.4%	84 4.0%	125 5.9%	117 5.6%	78 3.7%	68 3.2%
精神保健福祉分野	636 100.0%	45 7.1%	49 7.7%	55 8.6%	15 2.4%	28 4.4%	13 2.0%	6 0.9%	21 3.3%	38 6.0%	23 3.6%	21 3.3%	32 5.0%	16 2.5%	15 2.4%
生活福祉分野	724 100.0%	75 10.4%	52 7.2%	42 5.8%	28 3.9%	27 3.7%	36 5.0%	11 1.5%	17 2.3%	41 5.7%	29 4.0%	17 2.3%	19 2.6%	23 3.2%	7 1.0%
児童・青少年分野	461 100.0%	42 9.1%	29 6.3%	28 6.1%	17 3.7%	23 5.0%	11 2.4%	10 2.2%	26 5.6%	20 4.3%	37 8.0%	30 6.5%	10 2.2%	8 1.7%	6 1.3%
就労支援分野	77 100.0%	3 3.9%	6 7.8%	5 6.5%	3 3.9%	3 3.9%	4 5.2%	3 3.9%	1 1.3%	4 5.2%	2 2.6%	2 2.6%	3 3.9%	5 6.5%	2 2.6%
教育分野	181 100.0%	19 10.5%	3 1.7%	8 4.4%	4 2.2%	12 6.6%	2 1.1%	-	19 10.5%	21 11.6%	26 14.4%	7 3.9%	4 2.2%	1 0.6%	3 1.7%
その他	23 100.0%	3 13.0%	3 13.0%	1 4.3%	-	1 4.3%	-	-	-	1 4.3%	-	1 4.3%	-	-	-
未回答	2 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(表：後半)

Q30												
相談・支援における連携についてうかがいます。貴所属がひきこもりに係る相談・支援において、連携している関係機関等をすべて選び、回答欄に数字を記入してください。	(関係機関等との連携の現状)	⑨障害福祉サービス事業所	⑩社会福祉協議会	⑪地域包括支援センター	⑫民生委員・児童委員	⑬医療機関	⑭ひきこもり地域支援センター(東京都ひきこもりサポートネット)	⑮民間支援団体(NPO法人・フリースクール等)	⑯当事者団体・家族会	⑰他機関との連携はない	⑱その他	未回答
		合計	2,104 100.0%	62 2.9%	100 4.8%	110 5.2%	110 5.2%	140 6.7%	77 3.7%	78 3.7%	61 2.9%	23 1.1%
精神保健福祉分野	636 100.0%	26 4.1%	30 4.7%	44 6.9%	27 4.2%	50 7.9%	24 3.8%	21 3.3%	18 2.8%	5 0.8%	11 1.7%	3 0.5%
生活福祉分野	724 100.0%	20 2.8%	36 5.0%	53 7.3%	50 6.9%	38 5.2%	22 3.0%	27 3.7%	28 3.9%	9 1.2%	9 1.2%	8 1.1%
児童・青少年分野	461 100.0%	9 2.0%	24 5.2%	7 1.5%	23 5.0%	25 5.4%	21 4.6%	21 4.6%	11 2.4%	5 1.1%	6 1.3%	12 2.6%
就労支援分野	77 100.0%	4 5.2%	4 5.2%	3 3.9%	2 2.6%	3 3.9%	5 6.5%	2 2.6%	3 3.9%	4 5.2%	-	1 1.3%
教育分野	181 100.0%	3 1.7%	5 2.8%	1 0.6%	5 2.8%	22 12.2%	3 1.7%	6 3.3%	-	-	2 1.1%	5 2.8%
その他	23 100.0%	-	1 4.3%	2 8.7%	3 13.0%	2 8.7%	2 8.7%	1 4.3%	1 4.3%	-	1 4.3%	-
未回答	2 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 100.0%

前頁より続く



(28) 所属種別×今後連携する必要がある連携先 (表：前半)

Q31															
相談・支援における連携についてうかがいます。貴所属がひきこもりに係る相談している関係機関等をすべて選び、回答欄に数字を記入してください。	(今後連携する必要がある連携先)	①保健所・保健センター	②生活困窮者自立相談支援機関	③福祉事務所	④区市町村児童青少年行政所管課	⑤地域若者サポートステーション	⑥ハローワーク	⑦東京しごとセンター	⑧児童相談所・児童相談センター	⑨子供家庭支援センター	⑩学校(スクールカウンセラー等を含む)	⑪教育相談センター・教育センター	⑫精神保健福祉センター	⑬障害者就業・生活支援センター	⑭東京都発達障害者支援センター(TOSC A)
合計	1,839 100.0%	133 7.2%	87 4.7%	98 5.3%	55 3.0%	88 4.8%	56 3.0%	37 2.0%	75 4.1%	89 4.8%	109 5.9%	72 3.9%	74 4.0%	52 2.8%	46 2.5%
精神保健福祉分野	584 100.0%	27 4.6%	33 5.7%	34 5.8%	19 3.3%	28 4.8%	16 2.7%	11 1.9%	23 3.9%	27 4.6%	29 5.0%	27 4.6%	25 4.3%	19 3.3%	16 2.7%
生活福祉分野	599 100.0%	53 8.8%	24 4.0%	28 4.7%	16 2.7%	29 4.8%	22 3.7%	16 2.7%	15 2.5%	29 4.8%	32 5.3%	18 3.0%	27 4.5%	20 3.3%	14 2.3%
児童・青少年分野	397 100.0%	33 8.3%	23 5.8%	23 5.8%	11 2.8%	20 5.0%	14 3.5%	7 1.8%	20 5.0%	14 3.5%	27 6.8%	20 5.0%	12 3.0%	7 1.8%	9 2.3%
就労支援分野	68 100.0%	4 5.9%	3 4.4%	3 4.4%	3 4.4%	2 2.9%	2 2.9%	2 2.9%	2 2.9%	3 4.4%	4 5.9%	4 5.9%	3 4.4%	2 2.9%	3 4.4%
教育分野	170 100.0%	14 8.2%	3 1.8%	9 5.3%	6 3.5%	9 5.3%	2 1.2%	1 0.6%	15 8.8%	15 8.8%	16 9.4%	3 1.8%	5 2.9%	4 2.4%	4 2.4%
その他	19 100.0%	2 10.5%	1 5.3%	1 5.3%	-	-	-	-	-	-	1 5.3%	-	2 10.5%	-	-
未回答	2 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(表：後半)

Q31												
相談・支援における連携について、今後連携が必要であるか、回答欄に数字を記入してください。	(今後連携する必要がある連携先)	⑮ 障害福祉サービス事業所	⑯ 社会福祉協議会	⑰ 地域包括支援センター	⑱ 民生委員・児童委員	⑲ 医療機関	㉑ ひきこもり地域支援センター（東京都ひきこもりサポートネット）	㉒ 民間支援団体（NPO法人・フリースクール等）	㉓ 当事者団体・家族会	㉔ 他機関との連携はない	㉕ その他	未回答
	合計	1,839 100.0%	46 2.5%	65 3.5%	77 4.2%	87 4.7%	112 6.1%	121 6.6%	95 5.2%	96 5.2%	13 0.7%	22 1.2%
精神保健福祉分野	584 100.0%	20 3.4%	21 3.6%	29 5.0%	24 4.1%	41 7.0%	39 6.7%	32 5.5%	32 5.5%	3 0.5%	4 0.7%	5 0.9%
生活福祉分野	599 100.0%	15 2.5%	17 2.8%	30 5.0%	33 5.5%	32 5.3%	36 6.0%	32 5.3%	39 6.5%	3 0.5%	10 1.7%	9 1.5%
児童・青少年分野	397 100.0%	6 1.5%	19 4.8%	10 2.5%	20 5.0%	23 5.8%	26 6.5%	18 4.5%	14 3.5%	4 1.0%	5 1.3%	12 3.0%
就労支援分野	68 100.0%	2 2.9%	2 2.9%	4 5.9%	3 4.4%	3 4.4%	4 5.9%	2 2.9%	5 7.4%	2 2.9%	-	1 1.5%
教育分野	170 100.0%	3 1.8%	4 2.4%	3 1.8%	6 3.5%	11 6.5%	15 8.8%	10 5.9%	4 2.4%	1 0.6%	2 1.2%	5 2.9%
その他	19 100.0%	-	2 10.5%	1 5.3%	1 5.3%	2 10.5%	1 5.3%	1 5.3%	2 10.5%	-	1 5.3%	-
未回答	2 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 100.0%

前頁より続く

(29) 所属種別×地域における連携ネットワークの状況

Q32							
地域におけるひきこもりに係る連携ネットワークの現状について、あてはまるもの一つを選び、回答欄に数字を記入してください。	(地域における連携ネットワークの状況)	①ひきこもりに係る相談・支援に特化した連携ネットワークを構築している	②ひきこもりに係る相談・支援に特化した連携ネットワークは構築していないが、既存の他の会議体などにおいてひきこもりに係る連携も行っている	③連携ネットワークは構築していないが、個別ケースにおいて日常的に関係機関等と連携を行っている	④連携ネットワークは構築しておらず、個別ケースで連携することもほとんどない	⑤その他	未回答
合 計	319 100.0%	24 7.5%	47 14.7%	145 45.5%	53 16.6%	18 5.6%	32 10.0%
精神保健福祉分野	80 100.0%	6 7.5%	12 15.0%	44 55.0%	8 10.0%	5 6.3%	5 6.3%
生活福祉分野	113 100.0%	3 2.7%	17 15.0%	61 54.0%	20 17.7%	6 5.3%	6 5.3%
児童・青少年分野	73 100.0%	13 17.8%	12 16.4%	15 20.5%	16 21.9%	5 6.8%	12 16.4%
就労支援分野	11 100.0%	- -	2 18.2%	2 18.2%	5 45.5%	- -	2 18.2%
教育分野	36 100.0%	1 2.8%	4 11.1%	21 58.3%	3 8.3%	2 5.6%	5 13.9%
そ の 他	4 100.0%	1 25.0%	- -	2 50.0%	1 25.0%	- -	- -
未 回 答	2 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	2 100.0%

(30) 所属種別×今後必要な支援（1位）

Q33：1位														
ひきこもりに係る支援について、行政や支援機関が今後取り組む必要があると思われることを優先順位の高い順に三つまで選び、回答欄に数字を記入してください。	(今後必要な支援) 1位	①身近な地域における相談体制の充実	②地域における連携ネットワークづくり	③効果的な普及啓発の充実	④支援ガイドマップ作成・配布(支援機関が掲載されたマップ等)	⑤相談・支援機関向け研修会・事例検討会	⑥居場所の運営	⑦家族向けのひきこもりに関するセミナー、家族教室等	⑧ひきこもりの家族会と連携した取組の充実(ピアサポーター等)	⑨当事者・家族向け講演会・相談会・勉強会	⑩中間的就労等を含めた就労支援	⑪当事者団体・家族会との連携、当事者の声を聴く機会づくり	⑫その他	未回答
合 計	319 100.0%	132 41.4%	48 15.0%	14 4.4%	8 2.5%	7 2.2%	19 6.0%	8 2.5%	3 0.9%	10 3.1%	7 2.2%	7 2.2%	19 6.0%	37 11.6%
精神保健福祉分野	80 100.0%	34 42.5%	14 17.5%	4 5.0%	3 3.8%	4 5.0%	6 7.5%	1 1.3%	1 1.3%	- -	- -	2 2.5%	5 6.3%	6 7.5%
生活福祉分野	113 100.0%	48 42.5%	18 15.9%	8 7.1%	- -	3 2.7%	7 6.2%	2 1.8%	1 0.9%	3 2.7%	4 3.5%	4 3.5%	5 4.4%	10 8.8%
児童・青少年分野	73 100.0%	30 41.1%	12 16.4%	2 2.7%	1 1.4%	- -	2 2.7%	2 2.7%	- -	3 4.1%	1 1.4%	1 1.4%	8 11.0%	11 15.1%
就労支援分野	11 100.0%	2 18.2%	1 9.1%	- -	2 18.2%	- -	- -	- -	1 9.1%	2 18.2%	1 9.1%	- -	- -	2 18.2%
教育分野	36 100.0%	16 44.4%	3 8.3%	- -	2 5.6%	- -	4 11.1%	3 8.3%	- -	2 5.6%	- -	- -	- -	6 16.7%
その 他	4 100.0%	2 50.0%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 25.0%	- -	1 25.0%	- -
未 回 答	2 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	2 100.0%

(2位)

Q33 : 2位														
ひきこもりに係る支援について、行政や支援機関が今後取り組む必要があると思われることを優先順位の高い順に三つまで選び、回答欄に数字を記入してください。	(今後必要な支援) 2位	①身近な地域における相談体制の充実	②地域における連携ネットワークづくり	③効果的な普及啓発の充実	④支援ガイドマップ作成・配布(支援機関が掲載されたマップ等)	⑤相談・支援機関向け研修会・事例検討会	⑥居場所の運営	⑦家族向けのひきこもりに関するセミナー、家族教室等	⑧ひきこもりの家族会と連携した取組の充実(ピアサポーター等)	⑨当事者・家族向け講演会・相談会・勉強会	⑩中間的就労等を含めた就労支援	⑪当事者団体・家族会との連携、当事者の声を聴く機会づくり	⑫その他	未回答
合計	319 100.0%	31 9.7%	84 26.3%	19 6.0%	4 1.3%	24 7.5%	26 8.2%	18 5.6%	20 6.3%	18 5.6%	16 5.0%	9 2.8%	5 1.6%	45 14.1%
精神保健福祉分野	80 100.0%	8 10.0%	20 25.0%	5 6.3%	1 1.3%	10 12.5%	9 11.3%	3 3.8%	6 7.5%	3 3.8%	1 1.3%	4 5.0%	3 3.8%	7 8.8%
生活福祉分野	113 100.0%	12 10.6%	36 31.9%	7 6.2%	-	6 5.3%	4 3.5%	7 6.2%	10 8.8%	6 5.3%	9 8.0%	3 2.7%	1 0.9%	12 10.6%
児童・青少年分野	73 100.0%	6 8.2%	16 21.9%	6 8.2%	2 2.7%	4 5.5%	7 9.6%	3 4.1%	2 2.7%	6 8.2%	5 6.8%	1 1.4%	-	15 20.5%
就労支援分野	11 100.0%	1 9.1%	1 9.1%	1 9.1%	1 9.1%	1 9.1%	1 9.1%	2 18.2%	-	-	-	1 9.1%	-	2 18.2%
教育分野	36 100.0%	4 11.1%	10 27.8%	-	-	2 5.6%	5 13.9%	3 8.3%	2 5.6%	2 5.6%	1 2.8%	-	1 2.8%	6 16.7%
その他	4 100.0%	-	1 25.0%	-	-	1 25.0%	-	-	-	1 25.0%	-	-	-	1 25.0%
未回答	2 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 100.0%

(3位)

Q33 : 3位														
ひきこもりに係る支援について、行政や支援機関が今後取り組む必要があると思われることを優先順位の高い順に三つまで選び、回答欄に数字を記入してください。	(今後必要な支援) 3位	①身近な地域における相談体制の充実	②地域における連携ネットワークづくり	③効果的な普及啓発の充実	④支援ガイドマップ作成・配布(支援機関が掲載されたマップ等)	⑤相談・支援機関向け研修会・事例検討会	⑥居場所の運営	⑦家族向けのひきこもりに関するセミナー、家族教室等	⑧ひきこもりの家族会と連携した取組の充実(ピアサポーター等)	⑨当事者・家族向け講演会・相談会・勉強会	⑩中間的就労等を含めた就労支援	⑪当事者団体・家族会との連携、当事者の声を聴く機会づくり	⑫その他	未回答
合計	319 100.0%	15 4.7%	23 7.2%	17 5.3%	17 5.3%	24 7.5%	40 12.5%	20 6.3%	21 6.6%	21 6.6%	33 10.3%	28 8.8%	3 0.9%	57 17.9%
精神保健福祉分野	80 100.0%	6 7.5%	7 8.8%	7 8.8%	4 5.0%	7 8.8%	4 5.0%	6 7.5%	6 7.5%	6 7.5%	7 8.8%	9 11.3%	2 2.5%	9 11.3%
生活福祉分野	113 100.0%	4 3.5%	7 6.2%	4 3.5%	3 2.7%	9 8.0%	19 16.8%	12 10.6%	7 6.2%	7 6.2%	14 12.4%	10 8.8%	1 0.9%	16 14.2%
児童・青少年分野	73 100.0%	2 2.7%	3 4.1%	4 5.5%	7 9.6%	5 6.8%	12 16.4%	2 2.7%	6 8.2%	4 5.5%	3 4.1%	7 9.6%	-	18 24.7%
就労支援分野	11 100.0%	1 9.1%	3 27.3%	1 9.1%	-	1 9.1%	-	-	-	-	2 18.2%	-	-	3 27.3%
教育分野	36 100.0%	2 5.6%	3 8.3%	1 2.8%	3 8.3%	2 5.6%	5 13.9%	-	1 2.8%	4 11.1%	7 19.4%	1 2.8%	-	7 19.4%
その他	4 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	1 25.0%	-	-	1 25.0%	-	2 50.0%
未回答	2 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 100.0%

(31) 所属種別×情報発信

Q34									
ひきこもりに係る支援について、当事者・家族等支援を必要としている人に対して、どのよう方法で情報発信を行つていますか。実施しているものをすべて選び、回答欄に数字を記入してください。	(情報発信)	① ホームページへの掲載	② 自治体広報紙への掲載	③ ガイドブックの作成・配布	④ リーフレット・チラシの作成・配布	⑤ SNS (Twitter等)での発信	⑥ セミナーの開催	⑦ その他	未回答
合計	565 100.0%	121 21.4%	95 16.8%	18 3.2%	91 16.1%	25 4.4%	44 7.8%	95 16.8%	76 13.5%
精神保健福祉分野	143 100.0%	38 26.6%	30 21.0%	6 4.2%	25 17.5%	3 2.1%	11 7.7%	23 16.1%	7 4.9%
生活福祉分野	194 100.0%	39 20.1%	35 18.0%	7 3.6%	31 16.0%	6 3.1%	13 6.7%	40 20.6%	23 11.9%
児童・青少年分野	144 100.0%	32 22.2%	21 14.6%	3 2.1%	21 14.6%	12 8.3%	16 11.1%	12 8.3%	27 18.8%
就労支援分野	22 100.0%	3 13.6%	2 9.1%	-	3 13.6%	3 13.6%	4 18.2%	3 13.6%	4 18.2%
教育分野	52 100.0%	8 15.4%	5 9.6%	2 3.8%	9 17.3%	1 1.9%	-	14 26.9%	13 25.0%
その他	8 100.0%	1 12.5%	2 25.0%	-	2 25.0%	-	-	3 37.5%	-
未回答	2 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	2 100.0%

## (32) 所属種別×民間事業者の利用にあたってのトラブルに関する相談

Q35				
ひきこもりに係る支援を目的として掲げる民間事業者の利用にあたって、トラブル(高額な利用料を一括請求された。実際は支援を選び、回答欄に数字を記入してください。)	(民間事業者の利用をめぐるトラブルにかかる相談)	①相談を受けたことがある	②相談を受けたことはない	未回答
合計	319 100.0%	14 4.4%	262 82.1%	43 13.5%
精神保健福祉分野	80 100.0%	4 5.0%	71 88.8%	5 6.3%
生活福祉分野	113 100.0%	3 2.7%	98 86.7%	12 10.6%
児童・青少年分野	73 100.0%	5 6.8%	55 75.3%	13 17.8%
就労支援分野	11 100.0%	2 18.2%	5 45.5%	4 36.4%
教育分野	36 100.0%	- -	29 80.6%	7 19.4%
その他	4 100.0%	- -	4 100.0%	- -
未回答	2 100.0%	- -	- -	2 100.0%



## 1-2 地域支援包括センター

地域支援包括センター関係機関に対して行った設問Q1の結果（＝担当地区におけるひきこもりの状態にある方の把握状況）別に各設問のクロス集計・分析を行います。

※分析は、Q1回答から未回答1件を除外した276件が分析軸となっています。

### (1) 担当地区におけるひきこもりの状態にある方の把握状況×関係機関との連携の現状

Q6													
ひきこもりに係る相談・支援において、連携している関係機関をすべて選び、回答欄に数字を記入してください。	(関係機関との連携の現状)	① 保健所・保健センター	② 生活困窮者自立相談支援機関	③ 福祉事務所	④ 区市町村児童青少年行政所管課	⑤ 地域若者サポートステーション	⑥ ハローワーク	⑦ 東京しごとセンター	⑧ 児童相談所・児童相談センター	⑨ 子ども家庭支援センター	⑩ 学校 (スクールカウンセラー等を含む)	⑪ 教育相談センター・教育センター	⑫ 精神保健福祉センター
合計	1,290 100.0%	224 17.4%	149 11.6%	177 13.7%	14 1.1%	16 1.2%	11 0.9%	8 0.6%	14 1.1%	40 3.1%	9 0.7%	1 0.1%	25 1.9%
把握している 把握したことがある	1,213 100.0%	212 17.5%	140 11.5%	167 13.8%	12 1.0%	15 1.2%	10 0.8%	7 0.6%	13 1.1%	37 3.1%	9 0.7%	1 0.1%	22 1.8%
把握していない 把握したことがない	77 100.0%	12 15.6%	9 11.7%	10 13.0%	2 2.6%	1 1.3%	1 1.3%	1 1.3%	1 1.3%	3 3.9%	-	-	3 3.9%

  

⑬ 障害者就業・生活支援センター	⑭ 東京都発達障害者支援センター (TOSCA)	⑮ 障害福祉サービス事業所	⑯ 社会福祉協議会	⑰ 民生委員・児童委員	⑱ 医療機関	⑲ ひきこもり地域支援センター (東京都ひきこもりサポートネット)	⑳ 民間支援団体 (NPO法人・フリースクール等)	㉑ 当事者団体・家族会	㉒ 関係機関との連携はない	㉓ その他	未回答
26 2.0%	3 0.2%	43 3.3%	125 9.7%	190 14.7%	124 9.6%	12 0.9%	27 2.1%	13 1.0%	3 0.2%	33 2.6%	3 0.2%
25 2.1%	3 0.2%	42 3.5%	118 9.7%	180 14.8%	118 9.7%	10 0.8%	27 2.2%	12 1.0%	1 0.1%	31 2.6%	1 0.1%
1 1.3%	-	1 1.3%	7 9.1%	10 13.0%	6 7.8%	2 2.6%	-	1 1.3%	2 2.6%	2 2.6%	2 2.6%

(2) 担当地区におけるひきこもりの状態にある方の把握状況×中高年層への支援において課題と感じていること

Q7																
高齢の親が収入のないひきこもり状態にある中高年層の子供（おおむね40歳以上）の生活を支え、社会的に孤立している、いわゆる「8050」ケースの把握について、主なものを三つまで選び、回答欄に数字を記入してください。	（中高年層への支援において課題と感じていること）	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	未回答	
		ひきこもりに係る知識や支援ノウハウを有していない	当事者や家族からの相談に対して適切な対応がわからない	当事者・家族が抱える悩みが多岐に渡っているため、対応に時間がかかる	家族から相談があっても、当事者が相談・支援を望んでいない	関係機関との連携が十分ではないため適切に紹介できない	身近な地域にひきこもりに係る支援の社会資源（居場所や家族会等）がない	身近な地域にひきこもりに係る支援の社会資源（居場所や家族会等）を知らない	相談・支援に至るまで長期間経過しているケースが多く、対応が難しいと感じる	当事者がいる家庭の存在は把握しているがひきこもりの相談に繋がらない	近隣住民等から情報提供や相談があるが、当事者・家族にアプローチができない	家族から相談があっても、相談が継続せず途切れてしまう	中高年層の当事者がいる家庭の存在を把握したことがない	特になし		
合計	802 100.0%	52 6.5%	36 4.5%	109 13.6%	207 25.8%	24 3.0%	49 6.1%	16 2.0%	163 20.3%	51 6.4%	52 6.5%	36 4.5%	2 0.2%	4 0.5%	1 0.1%	
把握している 把握したことがある	746 100.0%	47 6.3%	31 4.2%	104 13.9%	197 26.4%	21 2.8%	46 6.2%	15 2.0%	152 20.4%	47 6.3%	49 6.6%	34 4.6%	1 0.1%	2 0.3%	-	
把握していない 把握したことがない	56 100.0%	5 8.9%	5 8.9%	5 8.9%	10 17.9%	3 5.4%	3 5.4%	1 1.8%	11 19.6%	4 7.1%	3 5.4%	2 3.6%	1 1.8%	2 3.6%	1 1.8%	

(3) 担当地区におけるひきこもりの状態にある方の把握状況×若年層への支援において課題と感じていること

Q8																
高齢者が取入のないひきこもり状態にある若年層（おおむね39歳以下）の子供もしくは孫の生活を支え、社会的に孤立している家庭への支援について、主なものを三つまで選び、回答欄に数字を記入してください。	（若年層への支援において課題と感じていること）	① ひきこもりに係る知識や支援ノウハウを有していない	② 当事者や家族からの相談に対して、適切な対応がわからない	③ 当事者・家族が抱える悩みが多岐に渡っているため、対応に時間がかかる	④ 家族から相談があっても、当事者が相談・支援を望んでいない	⑤ 関係機関との連携が十分ではないため適切に紹介できない	⑥ 身近な地域にひきこもりに係る支援の社会資源（居場所や家族会等）がない	⑦ 身近な地域にひきこもりに係る支援の社会資源（居場所や家族会等）を知らない	⑧ 相談・支援に至るまで長期間経過しているケースが多く、対応が難しいと感じる	⑨ 当事者がいる家庭の存在は把握しているがひきこもりの相談に繋がらない	⑩ 近隣住民等から情報提供や相談があるが、当事者・家族にアプローチができない	⑪ 家族から相談があっても、相談が継続せず途切れてしまう	⑫ 若年層の当事者がいる家庭の存在を把握したことがない	⑬ 特になし	未回答	
合計	708 100.0%	48 6.8%	41 5.8%	99 14.0%	154 21.8%	39 5.5%	32 4.5%	22 3.1%	85 12.0%	49 6.9%	37 5.2%	40 5.6%	41 5.8%	14 2.0%	7 1.0%	
把握している 把握したことがある	652 100.0%	42 6.4%	36 5.5%	92 14.1%	149 22.9%	33 5.1%	30 4.6%	21 3.2%	79 12.1%	46 7.1%	32 4.9%	37 5.7%	37 5.7%	12 1.8%	6 0.9%	
把握していない 把握したことがない	56 100.0%	6 10.7%	5 8.9%	7 12.5%	5 8.9%	6 10.7%	2 3.6%	1 1.8%	6 10.7%	3 5.4%	5 8.9%	3 5.4%	4 7.1%	2 3.6%	1 1.8%	

### 1-3 民生委員・児童委員

民生委員・児童委員に対して行った設問Q1の結果（＝担当地区におけるひきこもりの状態にある方の把握状況）別に各設問のクロス集計・分析を行います。

※分析は、Q1回答から未回答9件を除外した1,738件が分析軸となっています。

#### (1) 担当地区におけるひきこもりの状態にある方の把握状況×関係機関との連携の現状

Q6													
ひきこもりに係る相談・支援において、連携している関係機関をすべて選び、回答欄に数字を記入してください。	(関係機関との連携の現状)	①保健所・保健センター	②生活困窮者自立相談支援機関	③福祉事務所	④区市町村児童青少年行政所管課	⑤地域若者サポートステーション	⑥ハローワーク	⑦東京しごとセンター	⑧児童相談所・児童相談センター	⑨子ども家庭支援センター	⑩学校 (スクールカウンセラー等を含む)	⑪教育相談センター・教育センター	⑫精神保健福祉センター
合計	7,787 100.0%	622 8.0%	272 3.5%	525 6.7%	212 2.7%	267 3.4%	105 1.3%	80 1.0%	610 7.8%	701 9.0%	689 8.8%	236 3.0%	252 3.2%
把握している 把握したことがある	2,112 100.0%	195 9.2%	84 4.0%	153 7.2%	45 2.1%	53 2.5%	25 1.2%	19 0.9%	130 6.2%	208 9.8%	205 9.7%	48 2.3%	41 1.9%
把握していない 把握したことがない	5,675 100.0%	427 7.5%	188 3.3%	372 6.6%	167 2.9%	214 3.8%	80 1.4%	61 1.1%	480 8.5%	493 8.7%	484 8.5%	188 3.3%	211 3.7%

  

⑬障害者就業・生活支援センター	⑭東京都発達障害者支援センター(TOSC A)	⑮障害福祉サービス事業所	⑯社会福祉協議会	⑰地域包括支援センター	⑱医療機関	⑲ひきこもり地域支援センター (東京都ひきこもりサポートネット)	⑳民間支援団体 (NPO法人・フリースクール等)	㉑当事者団体・家族会	㉒関係機関との連携はない	㉓その他	未回答
110 1.4%	135 1.7%	74 1.0%	589 7.6%	796 10.2%	185 2.4%	505 6.5%	241 3.1%	201 2.6%	169 2.2%	100 1.3%	111 1.4%
23 1.1%	20 0.9%	23 1.1%	178 8.4%	291 13.8%	48 2.3%	85 4.0%	46 2.2%	36 1.7%	77 3.6%	49 2.3%	30 1.4%
87 1.5%	115 2.0%	51 0.9%	411 7.2%	505 8.9%	137 2.4%	420 7.4%	195 3.4%	165 2.9%	92 1.6%	51 0.9%	81 1.4%

(2) 担当地区におけるひきこもりの状態にある方の把握状況×若年層への支援において課題と感じていること

Q7															
ひきこもりに関する対応において、ひきこもりの状態にある方が若年層へおむね39歳までで、ある場合に課題と感じていることとして、主なものを三つまで選び、回答欄に数字を記入してください。	(若年層への支援において課題と感じていること)	① ひきこもりに係る知識や支援ノウハウを有していない	② 当事者や家族からの相談に対して、適切な対応がわからない	③ 当事者・家族が抱える悩みが多岐に渡っているため、対応に時間がかかる	④ 家族から相談があっても、当事者が相談・支援を望んでいない	⑤ 関係機関との連携が十分ではないため適切に紹介できない	⑥ 身近な地域にひきこもりに係る支援の社会資源（居場所や家族会等）がない	⑦ 身近な地域にひきこもりに係る支援の社会資源（居場所や家族会等）を知らない	⑧ 相談・支援に至るまで長期間経過しているケースが多く、対応が難しいと感じる	⑨ 当事者がいる家庭の存在は把握しているがひきこもりの相談に繋がらない	⑩ 近隣住民等から情報提供や相談があるが、当事者・家族にアプローチができない	⑪ 家族から相談があっても、相談が継続せず途切れてしまう	⑫ 若年層の当事者がいる家庭の存在を把握したことがない	⑬ 特になし	未回答
合計	4,049 100.0%	498 12.3%	296 7.3%	255 6.3%	549 13.6%	127 3.1%	74 1.8%	225 5.6%	445 11.0%	253 6.2%	272 6.7%	113 2.8%	760 18.8%	95 2.3%	87 2.1%
把握している 把握したことがある	1,588 100.0%	128 8.1%	64 4.0%	119 7.5%	284 17.9%	44 2.8%	34 2.1%	53 3.3%	252 15.9%	199 12.5%	181 11.4%	76 4.8%	105 6.6%	20 1.3%	29 1.8%
把握していない 把握したことがない	2,461 100.0%	370 15.0%	232 9.4%	136 5.5%	265 10.8%	83 3.4%	40 1.6%	172 7.0%	193 7.8%	54 2.2%	91 3.7%	37 1.5%	655 26.6%	75 3.0%	58 2.4%

(3) 担当地区におけるひきこもりの状態にある方の把握状況×中高年層への支援において課題と感じていること

Q8															
ひきこもりに関する対応において、ひきこもりの状態にある方が中高年層へのおおむね40歳以上)である場合に課題として感じていることとして、主なものを三つまで選び、回答欄に数字を記入してください。	(中高年層への支援において課題と感じていること)	① ひきこもりに係る知識や支援ノウハウを有していない	② 当事者や家族からの相談に対して、適切な対応がわからない	③ 当事者・家族が抱える悩みが多岐に渡っているため、対応に時間がかかる	④ 家族から相談があっても、当事者が相談・支援を望んでいない	⑤ 関係機関との連携が十分ではないため、適切に紹介できない	⑥ 身近な地域にひきこもりに係る支援の社会資源(居場所や家族会等)がない	⑦ 身近な地域にひきこもりに係る支援の社会資源(居場所や家族会等)を知らない	⑧ 相談・支援に至るまで長期間経過しているケースが多く、対応が難しいと感じる	⑨ 当事者がいる家庭の存在は把握しているが、ひきこもりの相談に繋がらない	⑩ 近隣住民等から情報提供や相談があるが、当事者・家族にアプローチができない	⑪ 家族から相談があっても、相談が継続せず途切れてしまう	⑫ 中高年層の当事者がいる家庭の存在を把握したことがない	⑬ 特になし	未回答
合計	3,737 100.0%	420 11.2%	236 6.3%	260 7.0%	472 12.6%	102 2.7%	67 1.8%	192 5.1%	415 11.1%	211 5.6%	230 6.2%	112 3.0%	759 20.3%	99 2.6%	162 4.3%
把握している 把握したことがある	1,451 100.0%	108 7.4%	53 3.7%	122 8.4%	253 17.4%	32 2.2%	32 2.2%	43 3.0%	218 15.0%	165 11.4%	159 11.0%	78 5.4%	109 7.5%	27 1.9%	52 3.6%
把握していない 把握したことがない	2,286 100.0%	312 13.6%	183 8.0%	138 6.0%	219 9.6%	70 3.1%	35 1.5%	149 6.5%	197 8.6%	46 2.0%	71 3.1%	34 1.5%	650 28.4%	72 3.1%	110 4.8%